

会議録

会議名 (審議会等名)		第8期第6回相模原市中央区区民会議（グループC）		
事務局 (担当課)		中央区役所区政策課 電話042-769-9802（直通）		
開催日時		令和7年12月23日（火）10時00分～11時40分		
開催場所		相模原市民会館 3階 第1大会議室		
出席者	委員	5人（別紙のとおり）		
	その他	0人		
	事務局	2人（区政策課職員）		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		<p>開会</p> <p>1 議題 中央区基本計画の取組状況の検証について <input type="radio"/>グループC ・取組目標V：豊かな環境をつくり、次世代へつないでいる ⇒【環境保全、都市緑化、生物多様性】【地球温暖化・廃棄物】 ・取組目標VI：わたしも、あなたも、誰もが輝いている ⇒【参加・協働、区政（分権）、行政サービス、広聴広報、公共施設マネジメント】</p>		
		<p>閉会</p>		

主な内容は次のとおり。

■取組の方向VI－2 ①住民サービスの向上

(斎藤委員)

コンビニで住民票が発行できるようになったのは、嬉しい。

(丹波委員)

最近の例として、側溝のごみ掃除をした際に、泥とごみが混ざってしまうと「ごみ」ではなく「泥」として出さなければならない。そうすると窓口が資源循環推進課ではなく、中央土木事務所になってしまう。中央土木事務所には袋を用意して欲しいと依頼しているが、現状では自分でビニール袋を用意し、そのまま入れて処理している。どこまでを市に「土」として処分してもらうべきかわかりにくい。

(斎藤委員)

土の処理は難しい。家庭でも、プランターの土を一般ごみとして出してはいけないはずである。緑地があれば捨てるのも考えられるが、それもなかなかできない。

(丹波委員)

側溝の掃除はなかなか難しい。以前よりも、市が行う清掃の回数が少なくなったと感じる。

(斎藤委員)

ごみ泥が溜まったままだと、豪雨の際に被害が出る可能性がある。側溝の蓋は重いため、簡単にはできない。

(斎藤委員)

地域に任されると大変である。

(山本委員)

側溝清掃について、上溝地区では年2回、地域住民で一斉清掃をしている。泥やごみが溜まっている箇所については清掃せず、配布している地図に○印を付けてもらい、次の会議までに自治会館のポストに投函してもらう。それを取りまとめて市役所に伝えている。

(山口委員)

「ごみない日」の関係で、5月30日頃の前後の日曜日に、年1回側溝を掃除している。側溝についてはやらないように伝えており、溜まっている箇所については連絡してもらうようしている。過去に側溝がごみ泥であふれている箇所を市に依頼したが、私道であったため市では介入できないという問題もあった。

(山本委員)

以前は、公園の草木の伐採をなかなか行ってもらえなかったが、現在は、公園内の整備が素早く行われるようになった。公園は汚いと事件などが起きやすくなる傾向があるためありがたい。

(山口委員)

大野北地区でも、対応が早くなつたと感じている。ただし、高木などは予算の関係があるため、対応が遅れることもある。

(代田委員)

清新地区では、公園の草木の伐採は各自治会で行っている。高木については対応ができないため、県や市に依頼している。

(山本委員)

JR相模線沿いの住宅で、高木が線路に入りつつあったが、所有者の問題もあり地域では対応できなかったことがある。所有者として費用面の問題があり、自分で伐採するには木が大きすぎる。

(代田委員)

木の伐採について、市に対応してもらえないことがあったが、過去に市の伐採作業に携わった経験のある地域の方がいて、その方の助力で対応してもらえたこともある。

(丹波委員)

窓口の対応は、良くなってきてていると思う。

(斎藤委員)

DXの視点では、電子申請により法人の事業報告や補助金申請をメールで行えるようになったなど改善が進んでいる。一方で、電子でできない手続が残っており、いまだに紙の申請書に記入しなければならないのは課題である。マイナンバー等を活用して、住所・氏名等が入力された状態で出力できないのか。

■取組の方向VI－2 ②区民意見の聴取と情報発信

(斎藤委員)

イベント実施時にGoogleフォームやQRコードを活用してアンケートを取りやすくなった。パブリックコメントは期間が短く、回答しづらい。団体で話し合って提出したいが難しいため、期間が長くなると嬉しい。

地域の意見として、相模原の子育てアプリがとても良いと聞いている。

QRコードが増え、「広報さがみはら」も見やすくなった。

(代田委員)

田名地区では「田名ナビ」を実施しており、QRコードを活用して情報発信をしている。

(山本委員)

単一自治会では紙ベースでアンケートを取っている。Googleフォームでの回答は、高齢者には難しいと感じる。スマートフォンを使って、インターネット上のQRコードの読み取り方が分からぬ方は多い。

(丹波委員)

他地区のイベントは、市のホームページで確認している。ポスターの掲示が他地区から来るのが、他地区の物は掲載しないことがある。

(山口委員)

大野北地区では、夏祭り等のイベント情報が分からぬいため地図に落としてほしい、という依頼があった。無料配布の数が増えるため、やめて欲しいという反対意見もあったが、実際に作成した。

(丹波委員)

学校内で地区的イベントを告知するのが良い。生徒同士で情報がすぐに広がる。

(山口委員)

最近は学校も、地域との密着を意識している。

(斎藤委員)

町内会の祭り等で、「ど・ろーかる」というアプリの取材としてJ:COMが3分程度のニュースにしてく

れる。カメラマンも無償で来てくれるため、記録や地域イベントの発信につながる。

(山口委員)

地域では、イベント発信のためにタウンニュース等の企業を呼ぶには費用がかかるため呼べない、という認識がある。

■取組の方向VI－2 ③公共施設を最適な状態で維持管理していくための検討

(斎藤委員)

公民館は改修工事をしている。市役所も古いが、災害対応の観点からは公民館の方が優先だと感じる。

(丹波委員)

改修をしても、学校に和式トイレが残っている。すべて洋式でよいのではないか。

(代田委員)

防災設備のトイレは、和式で整備されている。

(丹波委員)

洋式の椅子を置く設備もあるが、衛生面の観点から市民は使いたがらない。

学校について、町田市は令和40年度を目途に小・中学校の統廃合を進めつつ、新しく作り直していると聞く。相模原市は今後どのように進めていくのか。

(斎藤委員)

古い学校は断熱設備が整っておらず、エアコンの設置が必要になっている。

公園のベンチも、炊き出しの窯になるような仕組みがあるとよい。防災倉庫や公園の外灯は、太陽光発電付きのものにするべきである。

(丹波委員)

将来的には、災害時と平常時に併用しながら使える施設づくりが必要である。

(代田委員)

エレベーターがないことは、今後高齢者が増える中で課題になる。

(斎藤委員)

町田市の木曽団地は4階建てだが、エレベーターを増設している。

(丹波委員)

廃墟化した市営住宅は将来的に課題である。

(代田委員)

公民館は、部屋の予約が取りづらい

(丹波委員)

公民館で借りられる部屋が小さいところしかない。荷物置きのために部屋を余分に押さえることもできず、問題である。

閉会

以上

第8期第6回相模原市中央区区民会議（グループC） 委員出欠席名簿

No.	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	斎藤奈美	特定非営利活動法人 and Advance		出席
2	代田修	田名地区まちづくり会議		出席
3	丹波晴道	清新地区まちづくり会議		出席
4	山本あづさ	公募委員		出席
5	大井駿平	公益社団法人相模原青年会議所		欠席
6	山口信郎	大野北地区まちづくり会議		出席